

【平成25年4月19日】

- 平成22～24年版の情報通信白書について、原則として、自由な二次利用を認める旨を明記するとともに、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの表示ライセンス(CC-BY)で利用可能な点についても記載。併せて、数値データ等は著作権を有しないことも明記。

※政府系白書では初めて、あらゆる二次利用を原則可能とするもの。

- 情報通信統計データベースについては、ウェブサイトを更新し、より見やすいものとするとともに、数値データ等は著作権を有しないことも明記。

【平成25年7月16日】

平成25年版情報通信白書の公表(平成25年7月16日)にあわせ、以下の取組を実施。

- 平成25年版情報通信白書について、自由な二次利用が最大限可能となるよう、編集段階から権利処理等の手続きを進め、オープンデータ化を実施。
- 平成20及び21年版情報通信白書についても、自由な二次利用を認めるオープンデータ化を実施。
- 平成23～25年版情報通信白書に掲載されている図表のデータについて、従来のExcel形式だけでなく、より機械判読に適したCSV形式で提供を開始(平成20～22年版白書についても7月26日よりCSV形式での提供を開始)。

The screenshot shows the MIC website's Information Communications Statistics Database. A red box highlights the Creative Commons license information: "原則として、自由な二次利用を認める旨を明記するとともに、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの表示ライセンス(CC-BY)で利用可能な点についても記載". Another red box points to the download link for the 25th edition: "情報通信白書平成25年版 CSV". A third red box highlights the open data policy: "CSVデータのダウンロードが可能". A fourth red box at the bottom states: "数値データは自由に利用可能である旨を明記". A red arrow points from the top box to the download link.